

# 全国進路指導研究会

## 冬のセミナー：2017

生きる・学ぶ・働く—子ども・青年とともに未来を拓こう！—

■ 2017年2月5日(日)

13:30~16:30 開場 13:15

■ 武蔵野ブレイス 3階スペースC

JR 中央線 武蔵境駅南口すぐ 0422-30-1905

### インクルーシブ教育実施への 道すじを探る—ともに生きる社会の創造をめざして

「全ての人は生まれながらにして存在そのものに価値をもって  
いる」は「自明のこと」ではなかったのか？ 相模原・津久井や  
まゆり園での殺傷事件は、「疑ってもみなかったこと」が根底か  
ら崩されていくような衝撃的な事件でした。

事件から約6ヶ月、各方面で実に様々なやり取りがなされてき  
ました。「車椅子で町を走ることが怖くなった。これまでサポ  
ートを受けにくい、見えない障害に焦点を当てて研究を進めてきた  
が、今回の事件があって自分のような見える障害をもつ人々が置  
かれる状況の怖さを再認識した。周囲の人に障害者だとすぐにわ  
かってしまう。素朴に「殴られるかもしれない」という恐怖感をも  
った」(小児科医・大学教員の熊谷晋一郎氏：NHKの取材に答  
えて)、「障害のある子の親としてテロ事件と同じくらいに受け止  
めている」(ダウン症の息子を育てる父親：AERA10/31号)、  
社会福祉の問題や施設で働く人の労働環境についての議論など。

私たちは「あの事件」からたくさんの重たい課題を突きつけら  
れました。私自身、「教育の仕事」に携わるものの一人として、  
どう引き取り、何を学び、どう活かしていくのか。今一度、正面  
から向き合わなくては…と考えています。冬のセミナーでは、こ  
れまでなされてきた様々なやり取りもふまえて、改めて考えあ  
う機会にしたいと思います。ご参加をお待ちしています。

(共同代表：遠藤裕子)



お話：神戸金史さん RKB 毎日放送東京報道部長

『障害を持つ息子へ～息子よ、そのまま、いい。～』著者

1967年群馬県生まれ。91年毎日新聞入社。長崎支局で雲  
仙・普賢岳大火砕流に遭遇し、災害取材に専従。99年からRKB毎  
日放送との記者交換制度により、2年間放送記者に。ドキュメン  
タリー『攻防蜂の巣城～巨大公共事業との闘い4660日～』を  
制作、放送文化基金賞で入賞。04年毎日新聞で、自閉症児の父  
親の立場からコラム「記者の目」や、『うちの子 自閉症児とそ  
の家族』を連載。05年RKB毎日放送に転職。ドキュメンタリー  
『うちの子 自閉症という障害を持って』で新聞連載を映像化  
し、JNNネットワーク大賞を受賞。16年から現職。2016年1  
0月ブックマン社より、上記書出版。

報告：遠藤裕子さん 都内私立高校 SC (学校心理士)

全進研共同代表 日本私学教育研究所委託研究報告「特別支援教育  
の視点を生かした学校づくり—私立高校の可能性」(2014年)

資料代：1000円 / 学生無料

主催 ● 全国進路指導研究会

連絡先 090-9145-9892

HP <http://zenshinken.jimdo.com/>

Email [zenshinken@hotmail.com](mailto:zenshinken@hotmail.com)